

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 こども保育科昼間Ⅰ部) 2024年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			英会話Ⅰ	学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、英語コミュニケーションスキルを習得できるようになる。	1年後期	45	3	○			○			○	
○			英会話Ⅱ	日常英会話から、保育に必要な英会話などを習得できるようになる。	3年後期	30	2	○			○			○	
○			健康科学	スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識を習得できる。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			生涯スポーツ	各種スポーツの技能向上やスポーツ発展史を学び、実践することができる。	1年前期	30	1	○				○		○	
○			情報処理入門Ⅰ	Word・Excel・PowerPointのオフィススイートの基本操作を習得できる。	1年後期	45	3	○			○			○	
○			日本国憲法	憲法の基礎知識について学び、法的、論理的に自らの意見を述べる力を身につけることができる。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			職業人教育Ⅰ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	1年通年	60	4	○			○			○	
○			職業人教育Ⅱ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	2年通年	60	4	○			○			○	
○			職業人教育Ⅲ	学校行事への企画力や社会人としての基本的マナーを身につけ、対人援助職にふさわしい人間性を養う。	3年通年	60	4	○			○			○	
○			幼児と音楽表現	音楽技術（ピアノ・声楽）の習得や資質の向上を目指すことができる。	1年前期	15	1	○			○			○	

○		保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）	保育所実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	2年前期	15	1	○			○									
○		保育実習Ⅰ（保育所）	保育現場において、生きた保育技術を修得することができる。	2年前期	80	2				○		○							
○		保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）	施設実習を円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	3年前期	15	1	○					○							
○		保育実習Ⅰ（施設）	施設擁護に関わる職務・役割を実践的に学び、技術を修得することができる。	3年前期	80	2						○		○					
○		保育実習事前事後指導Ⅱ	保育実習Ⅱを円滑に行うために必要な事柄を学習し、実習で発揮できる。	3年前期	15	1	○							○					
○		保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰで学んだことを実践に繋げ、技術の向上をはかることができる。	3年前期	80	2								○		○			
○		卒業制作	各自でテーマを設定し、課題に取り組みプレゼンテーションができる。	3年後期	60	4					○					○			○
○		ピアノ基礎Ⅰ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的な技術を身につけることができる。	1年通年	60	4					○								○
○		ピアノ基礎Ⅱ	楽譜の読み方や、弾き方などピアノの基礎的な技術を身につけることができる。	2年通年	60	4					○								○
○		ピアノ応用	子どもの歌や簡単な伴奏法を身につけ応用できるようになる。	3年通年	60	4					○								○
○		保育教材研究Ⅰ	子どもの成長に相応しい教材を知り、製作や実践を通して保育力の基礎を身につけることができる。	1年通年	60	4					○								○
○		保育教材研究Ⅱ	子どもの成長に相応しい教材を知り、製作や実践を通じて保育力の基礎を身につけることができる。	2年通年	60	4					○								○
○		ふれあい実習Ⅰ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	1年通年	60	4					○								○
○		ふれあい実習Ⅱ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	2年通年	60	4					○								○
○		ふれあい実習Ⅲ	学生が主体となり、実際に子どもと関わることで、実践的な保育力を習得することができる。	3年通年	60	4					○								○

○		実習プレ	実習に向けて、実習日誌の書き方から指導案の作成など、必要な知識と技術の習得ができる。	2年 通年	60	4		○	○		○								
○		保育ゼミ	様々な保育現場で役立つ知識や技術を身につけることができる。	3年 通年	60	4		○	○		○	○							
○		キャンプ実習	キャンプインストラクターの資格取得を目指し、安全指導や対人力を習得することができる。	2年 後期	30	2		○	○										
○		幼児体育指導	資格取得を目指し、子どもに対しての体育や運動遊び指導の技術を身につけることができる。	2年 後期	15	1		○	○										
○		リズム運動あそび	リズム運動を通じて発達やあそびの形態を実践できるようになる。	1年 前期	30	2		○	○										
○		子どもコミュニケーション学	他学科との合同授業の中で、保護者や子どもへのコミュニケーションスキルを身につけることができる。	1年 後期	15	1		○	○		○								
○		レクリエーションⅠ	レクリエーションの意義を理解し、レクリエーション支援の方法について、自ら考えることができる。	2年 後期	60	4		○	○										
○		就職対策講座Ⅰ	就職試験対策に取り組みながら、保育者として主体的・対話的で深い学びが実現できるようになる。	2年 後期	30	2	○		○										
○		幼児安全法	幼児の救急救命や、けがの手当て、予防法などの知識を学び、実践できるようになる。	2年 後期	30	2		○	○										
○		子ども福祉学	社会的養護領域に関する専門的知識や専門的技術を身に付け、発揮できるようになる。	2年 後期	30	2	○		○										
○		レクリエーションⅡ	レクリエーションの意義を理解し、レクリエーション支援の方法について、自ら考えることができる。	3年 前期	60	4		○	○										
○		就職対策講座Ⅱ	就職試験対策に取り組みながら、保育者として主体的・対話的で深い学びが実現できるようになる。	3年 前期	30	2	○		○										
○		療育指導	発達がゆっくりな子どもたちに対しての遊びの知識と技術が身に付けられるようになる。	3年 前期	30	2	○		○										
○		病児保育	病児・病後児の現状について理解を深め、保育方法を習得できる。	3年 前期	30	2	○		○										
○		チャイルドケア	ベビーマッサージや、小児鍼など自然療法を取り入れた保育ケアを習得できる。	3年 後期	15	1		○	○										
				74科目	単位時間(174単位・2875時間)												

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。